

2026 年関東甲信越地区中学・高校ディベート選手権

<第 31 回ディベート甲子園 関東甲信越地区予選>

大会要項

主催 全国教室ディベート連盟、全国教室ディベート連盟関東甲信越支部

後援 読売新聞社、関東甲信越地区（1 都 9 県）各教育委員会（予定）

協力 慶應義塾高等学校、渋谷教育学園幕張中学校・高等学校

目的

ディベートの普及を通して、議論の文化を育むこと。

出場選手には本大会において、議論の技術を学び、公平・公正な議論を尊ぶ心を養うことを期待する。

開催期日・会場

2026 年 6 月 14 日（日）会場：慶應義塾高等学校（横浜市港北区）

7 月 19 日（日）、7 月 20 日（月・祝）会場：渋谷教育学園幕張中学校・高等学校（千葉市美浜区）

論題

【中学の部】

「日本は選挙の棄権に罰則を設けるべきである。是か非か」

- * 公職選挙法で定めるすべての選挙を対象とする。
- * 棄権とは、投票しないことであり、白紙投票は含まない。
- * 1 回の棄権につき過料 1 万円を課す。
- * 病気等やむをえない理由による棄権は除く。
- * 収入は選挙についての広報にあてる。

【高校の部】

「日本は富裕税を導入すべきである。是か非か」

- * ここでいう富裕税とは、日本に居住する個人が保有する純金融資産に対し毎年課税する国税とする。
- * 課税の対象は純金融資産のうち 3000 万円を超える部分とし、税率は 1 パーセント以上とする。
- * 税金の使いみちを特定しない税（普通税）とする。

参加資格・出場校数について

1) 参加資格

- 中学の部 東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・栃木・群馬・山梨・新潟・長野各都県の中学校（あるいは中学校に対応する中等教育学校、義務教育学校、特別支援学校の学年）に在籍する生徒
- 高校の部 東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・栃木・群馬・山梨・新潟・長野各都県の高等学校（あるいは高等学校に対応する高等専門学校、中等教育学校、特別支援学校の学年）に在籍する生徒 ※高等学校等への在学期間が原則として通算 3 年以内であること。なお、在学期間に休学期間は含まない。

※前項に定める学校に準ずる教育機関に所属する者で、大会への出場を希望する場合は、事前に主催者にその旨を申請し、認められた場合には出場資格を得ることができる。

※不明な点は事務局までお問い合わせください。

2) 出場校数 中学の部・高校の部合わせて原則 40 校まで

大会ルール

全国中学・高校ディベート選手権ルール（2022年2月20日改正）を必ず熟読、確認の上ご参加ください。
参照 参照 <https://x.gd/nUj0T>（ルール・ガイドラインなど。Google Driveが開きます）

日程

6月14日（日）	中学の部（予選）、高校の部（予選）	9:00 開会式	17:30 試合終了（予定）
7月19日（日）	中学の部（予選）、高校の部（予選）	9:00 試合開始	17:30 試合終了（予定）
7月20日（月・祝）	中学の部（順位決定戦）、高校の部（順位決定戦）	9:30 試合開始	17:30 閉会式終了（予定）

申込方法

支部ウェブサイト（<http://nade-kanto.info/>）掲載の申し込みフォームからお申し込みください。申込手続は、(1)参加申し込み、(2)参加確定後の登録費用の支払い及びメンバー登録の2段階に分けて行います。

■参加登録期間

【6月14日から参加する場合】5月18日（月）～5月29日（金）まで（必着）

【7月20日から参加する場合】6月15日（月）～6月26日（金）まで（必着）

支部ウェブサイト（<https://nade-kanto.info/apply/>）上のフォームに必要な事項を記入の上、送信してください。主催者で確認次第、72時間以内に受信確認のメールを返信いたします。返信メールが確認できない場合、正しくフォームが送信されていない可能性がありますので、必ず主催者までご連絡ください。また、教員以外が引率する場合の引率者承認書はこの期間中に提出してください。

なお、この期間を過ぎてからは参加登録を受け付けることはできませんので、ご注意ください。

■出場手続期間

【6月14日から参加する場合】6月1日（月）～6月5日（金）まで（必着）

【7月20日から参加する場合】7月6日（月）～7月10日（金）まで（必着）

この期間に参加登録料の振り込みと選手名簿の登録を行っていただきます。具体的な手続方法については、参加登録のあった学校に対して、事務局からメールにてご連絡いたします。6月5日（金）または7月10日（金）までに登録料の入金と選手名簿の登録を確認できない場合は申し込みが完了せず、大会に出場できませんので、ご注意ください。

※出場が決定したチームには、大会1週間前までをめどに出場決定通知を送付します。

※対戦方法とタイムスケジュールはメールで参加校に通知します。

※参加チーム一覧は支部ウェブサイトにも掲載します。大会直前に出場できなくなることが判明した場合、別途連絡する緊急連絡先に必ずご連絡ください。

※参加登録料は、大会中止を除き返金いたしません。

大会事務局・お問い合わせ先（できるだけメールでお問い合わせください）

全国教室ディベート連盟関東甲信越支部大会事務局

メール：kanto@nade.jp

◎応募多数の場合

中学・高校の参加申し込みが上記の数を超えた場合、原則として申し込み順に出場校を決定します。出場をお断りする場合は、締切後10日以内に連絡いたします。

◎地区大会参加登録料

中学の部：1校15,000円、高校の部：1校15,000円

※指定口座に振り込みの上、お申し込みください。恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

※振込依頼人名は、個人名ではなく学校名を中学か高校か分かる形でご指定ください。特段の事情で振り込みが困難な場合はご相談ください。

※入金を確認できた時点で申し込み完了となります。出場手続期間中に入金を確認できない場合は出場できませんのでご注意ください。

※領収書発行について

領収書は、電子的に発行いたします。ご希望の宛名を指定してください。

(振込先) ※春季大会・秋季大会とは振り込み先が異なっております。ご注意ください。

住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通預金 2267479

特定非営利活動法人全国教室ディベート連盟

(トクテイヒエイリカツドウホウジンゼンコクキョウシツディベートレンメイ)

対戦方法と順位の決定

中学・高校の部門別に予選リーグ戦と決勝トーナメント戦を行い、第31回全国中学・高校ディベート選手権(ディベート甲子園)に出場する中学校6校および高校8校と、それぞれ優勝・準優勝各1校を決定します。大会全日程を通じて参加することを基本としますが、やむを得ず全日程参加できない場合は以下のとおりです。

・6月14日に参加せず、7月19日からの参加であっても、対戦成績によっては全国大会出場権を得ることができます。6月14日のみの参加では全国大会出場はできません。6月14日か7月19日、いずれか1日のみの参加の場合は、各日程の参加登録期間中に事務局までご連絡ください。

●中学の部

全国大会出場権は、7月19日に4校、7月20日に2校に与えられます。

●高校の部

全国大会出場権は、7月19日に4校、7月20日に4校に与えられます。

引率とチーム構成について

1. 同一校からの参加は1チームとします。
2. 引率教員もしくは学校が認めた成人が引率してください。
3. チームは同一の学校に在学する生徒、原則4~6名で構成し、申し込み時に登録します。
試合出場は4名ですが、試合毎に交代することができます。
各試合では試合開始前に出場メンバー届を司会に提出します。
4. やむを得ず2~3名での大会登録を希望する学校は、大会申し込み時に、申込書にその理由を明記してください。主催者が事情を認めた場合には、大会への参加が認められます。2~3名で登録する際の規定については、全国中学・高校ディベート選手権大会要綱(別紙)を参照してください。
5. 大会日程をまたがって出場メンバーを変更する場合、以下のとおりとします。
全国大会出場権獲得後、順位が失効する形でのメンバー変更はできません。
 - メンバーが増える場合
登録人数が6名未満のチームについては、6名に達するまで、追加登録が可能です。
 - メンバーが入れ替わる場合
登録人数の半数を超えて変更する場合は、それまでの順位を無効とし、初めて参加するチームと同等に取り扱います。例えば、1日目に6名チームで登録した場合、1日目に登録したメンバーが2日目にも少なくとも3名登録されないと、1日目の順位が無効になります。7月19日と20日のメンバー変更は原則として認められません。
 - メンバーが減少する場合
ディベート甲子園では、「1チーム4名以上」での参加を原則としているため、1日目からメンバーが減少した結果、2日目に4名以上での参加が不可能になったチームは、その理由を明記した参加申込書をメールで事務局まで再送してください。主催者が事情を認めた場合は、2~3名での参加が認められます。

その他

全国大会は8月8日（土）から8月10日（月）まで、千葉大学教育学部にて開催を予定しています。全国大会への出場については、出場校に別途ご案内します。なお、全国大会参加登録料として中学の部、高校の部ともに各学校 20,000 円をご負担いただく予定です。ご承知おきください。

※大会開催中は各試合も含めて主催者側で写真撮影や録画・録音を行うことがあります。記録したものはディベート普及や教育の目的で、支部ウェブサイトで公開の他、DVDで配布、または各種講座で活用させていただくことがあります。予めご了承ください。

※テレビ局/新聞社等による取材がなされる可能性がございます。その際には開会式などのご案内いたしますが、ディベートの普及のために、ご協力いただきますようお願いいたします。

※出場選手の肖像権等を守ることに配慮し、試合の記録としての映像の撮影、音声の録音および写真の撮影については、大会主催者や報道関係者を除いて以下の通り制限します

1. 見学者は録音・録画を行わないでください。
2. 出場選手は、自分が出場する試合に限り、対戦校の許可を取った上で録音することが可能です。